

単元名

「働くことと向き合おう」 ～ 職場体験学習を通して ～

本単元で育成する資質・能力

知識・技能, 思考力・判断力・表現力, 主体的に学ぶ力, 他者とかかわる力, 社会貢献力, 自己形成力

単元について

1 生徒観

本学年の生徒は、これまでの課題発見・解決学習の学習過程において、課題に対して関心・意欲を持って取り組み、他者と協力して自らの考えを広げたり深めたりすることを通して、学んだことを発信しようとする意欲・態度は高い（※表①②③）が、その学習を通してさらに課題を追究しようとする関心・意欲にまで十分つながっていないことが分かる（※表④）。また、本校が育成したい資質・能力のうち、思考力・判断力・表現力の項目において、「根拠をもとに、正しい判断をする力」や「相手に分かりやすく伝える力」に課題がある（※表⑤⑥）ことが分かる。

表 生徒アンケート結果

アンケート項目		よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
課題発見・解決学習	①授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみよう」と思います。	42.3%	44.9%	11.0%	1.8%
	②授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	48.2%	36.7%	11.5%	3.5%
	③「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	39.3%	40.2%	18.3%	1.8%
	④学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	35.4%	38.5%	23.5%	2.7%
資質・能力	⑤根拠をもとに、正しい判断をする力 【思考力・判断力・表現力】	33.5%	37.9%	26.3%	2.2%
	⑥相手に分かりやすく伝える力 【思考力・判断力・表現力】	25.4%	43.8%	25.9%	4.9%

(平成28年6月27日 第1学年243名)

2 単元観

本校では、総合的な学習の時間を以下の図のようなイメージで単元を構成している。1年間を前期と後期の2つの単元に分け、前期を「地域理解・社会貢献」、後期を「自己探究」学習の単元としている。これらは、個別の単元として捉えてはならず、前期の単元の学習が次の後期の自己探究につながるそしてそれがまた、次の前期の単元または、後期の単元につながっていく。つまり、ここにあるすべての単元が一つの単元として捉えられるように各単元をデザインするように意識している。



図 総合的な学習の時間の全体イメージ

本単元は、第2学年の総合的な学習の時間における「地域理解・社会貢献」学習の単元と位置付けており、職場体験を通して、地域で働く人の様々な思いや考え方を感じ取り、自らの職業観や勤労観を育み、その成果を生活の中で生かそうとする資質・能力を育てることをめざしている。

具体的には、職場体験学習において2つのミッションを設定している。1つ目は、【Mission1】として、職場体験に向けて、自らの「働くこと」に対する意識や考えを深め、特に知識・技能に係る資質・能力を磨き、それを職場体験の場で発揮するということ。2つ目は、【Mission2】として、お世話になった事業所に対して、礼状だけで終わらせるのではなく、さらに「プラスワン」のお返しができないかを考えそれを実行させることで、地域や地元の事業所とのつながりをより強くしていこうということである。

この2つの課題を、事前・事後も含めた職場体験学習を通して、生徒が「働くこととはどういうことか」を【Mission1】により主体的に学び、「自分たちにできること」を【Mission2】により探究的に考え、その成果を地域や事業所に返していくことで、特に価値観・倫理観にあたる自己形成力や社会貢献力といった資質・能力も高まっていくのではないかと考えこの単元を構想した。

3 指導観

指導にあたっては、まず単元ガイダンスにおいて、1年次の総合的な学習の時間でどのようなことを学び、地域に向けてどのような発信をしてきたのか、また、どのような力を身に付けてきたのかを交流することにより、これから身に付けるべき力や目指すべき目標、学習レベルをイメージさせる。

本単元は、生徒がより主体的に課題と向き合い、学習を振り返ることで自らの成長や課題に気づき、更なる課題に向けてチャレンジしようとする態度や価値観を高めることを目指している。また、本単元の2つの課題（【Mission1】、【Mission2】）については、以下の点に留意する。

【Mission1】

働くために必要なスキルを身に付け、職場体験で実践しよう！

【Mission2】

お世話になった事業所へ、お礼として自分たちができることを考え実行しよう！

① 【Mission1】について

1年次の後期の単元において、自らの職業レディネステストや職業に就くまでのロードマップを作成することを通して、職業についての理解を深め、自らの将来像をどのように持ちどう設計していけばよいかという「将来設計」に係る力や「職業観や勤労観」を育んできたことが、この【Mission1】につながるように、1年次の振り返りとこの課題の意義を考えさせる。また、【Mission1】において、社会人として最低限身に付けるべき資質・能力と個別に高めたい資質・能力があると考えられる。そこを生徒にしっかりと認識させ、個々に応じた目標設定を立てさせるよう留意したい。

本単元の事前学習においては、「仕事を知る」「仕事をしている人から学ぶ」「社会人として必要なスキルを磨く」「自己PRができる」ことを中心に学習をし、その学習の前後で自らの考えやスキルの定着度の変容を確かめながら進めていく。そして職場体験を通して、実際の現場でできたことできなかったこと等を振り返り、自らへの更なる課題を見いださせる。

さらに、後期の「自己探究」の単元では、本単元の特に【Mission1】の学習を題材に「働くこと」に対する自らの価値観や倫理観にあたる自己形成力を深める学習を行い、進路実現につなげていく学習を行う。そのためにも、職場体験学習の事前と事後の意識やスキルの変容が自ら見取ることができるようしておく。

② 【Mission2】について

本単元は、「地域理解・社会貢献」学習の第2段である。1年次で学習した、地域の文化施設の魅力を広げるために、「自分たちができることはないか」という問いに対して、どこまで文化施設の思いや願いに応えられたのかを再度問い、本単元の【Mission2】の意義やそこで求めるゴールを生徒たちに明確に持たせる。また、事前学習では、昨年度の2年生が考えた作品やアイデアを紹介し、それによって事業所の方が喜んで頂いたエピソードなども紹介し、「昨年の2年生を超えたい」「事業所の役に立ちたい」「昨年より事業所の方に喜んでもらえることを考えたい」などという意欲を高める。

さらに、職場体験の事前打ち合わせや職場体験中においても、体験する事業所の方やそれを利用する方のニーズがなんであるか、どのようなものを求めているのか、またどのような課題があるのかをしっかりとリサーチするように指導する。事後学習では、【Mission2】に係る日程（スケジュール）等を事前に示し、限られた時間・限られた予算の中で、最大限のパフォーマンスを発揮させるために、事後学習のはじめの段階に計画と企画のスクラップアンドビルドをしっかりと行わせる。その際、それぞれの事業所ごとで、互いに考えた案を交流し、特に「実現性があるか」「自己満足ではなく相手のニーズに沿うものか」「提案型の場合、それを実行する主体と対象は明確になっているか（他力本

願の提案になっていないか) 」等を視点に相互評価をさせるとともに、各事業所の担当教員も必要に応じて、生徒にアドバイスや助言を行う。

学習過程の各場面においては、以下の内容に重点をおいて指導を行う。

課題の設定の場面では、1年次に制作した「職業ロードマップを作ろう」の単元で学習した事を交流し、職場で働く大人や仕事への「あこがれ」や、体験を通して感じた自分の「可能性」から課題を設定する。また、職場体験に向けて、今の自分に足りないものがなんであるか、職場体験を通じてどのような力を身に付けたいのかなどしっかりと考えさせる。

情報収集の場面では、まず、ゲストティーチャーを招き（1年次で作成したロードマップで特に生徒の関心が高い職業から選びゲストティーチャーを招聘する）、「働くこと」とはどういうことかを学ぶ。この活動により、社会人として身に付けるべき資質・能力、例えば、所作であるとかマナー、礼節について理解を深めるとともに、不足している自らの資質・能力をしっかりと認識させ、活動に必要なスキルを演習・習得することの必要性を感じさせることで、その後に設定するマナー教室にも意欲的に取り組むことができるようにする。

整理・分析の場面では、本単元を学習する過程において、自らが設定した身に付けるべき力や自分の考えがどのように変容したのかを生徒自身が見取れるように、特に表やマトリックスを用いて整理させる。これにより、単元の終末における振り返りやまとめもしやすくなると考える。また、このような整理・分析の仕方を教科等でも関連を意識しながら指導することで、学んできた思考ツールが目的に応じて使える道具となることを目指す。

まとめ・創造・表現の場面では、情報を整理・分析したものをもとに、体験した職場に対して恩返しができるよう、事業所にとって役に立つような自分たちにできることを考え、企画する。また、企画を交流することで、他のグループの良いところを取り入れ、よりレベルの高い企画を考えさせる。

実行の場面では、生徒が体験した職場へ向かい、担当の方にも協力を仰ぎ、企画を実行に移す。また、実行に至らなかった企画についても、校内や地域の施設、公民館などに掲示をさせていただく。

振り返りの場面では、本単元の活動を振り返り、付けたい力がどのようにして、どの程度身に付いたのかを文章で整理させ、自己評価を通じて自らの成長を認識させる。この活動を通じて、成果だけでなく課題解決の方法や、新たな願いや思いなどもしっかり書かせることで、今後の生き方に対する考えや地域へ貢献しようとする態度、総合的な学習の時間等における学習の探究心をさらに高めさせる。

資質・能力及び態度の育成にあたっては、以下の内容を重点において指導を行う。

個別の知識・技能

「働くこと」について、単元の導入と終末、そして後期の単元「自分の進路につなげよう」において生徒に問うことで、自らの「働くこと」における職業観・勤労観の意識の変容を自己分析させ、「働くこと」に対する意義や意味の理解を深める。

また、職場体験学習の事前学習において、マナー講座等を開設し、ゲストティーチャー等の協力も仰ぎながら、学校では不足している社会人としての資質・能力、具体的には、マナーや礼節、自己PR、受け答え等の技能を高める。

思考力・判断力・表現力

本単元では、いくつかの学習場面において、学習過程をもとに次の計画や目標を立てる場面がある。その際に、これまで学習した知識や技能を活用して、より精度の高い計画や目標を立てさせる。そのために、自分の立てた計画や目標等を他者に提示し評価・批判してもらうことで、よりよい計画や目標となるよう、それらを磨き上げる時間を設定する。

また、自己PRの学習を通して、自らの考えや相手に伝えたいことをどのようにまとめ、どのように表現すればよいのかを考え、演習することにより、思考力・判断力・表現力を高める。

主体的に学ぶ力

【Mission1】 【Mission2】において、自分の現状を踏まえ自分の力に応じた課題設定ができているか、そしてそれを達成するために、どのように計画しどのように実行したのかを振り返りとして自己分析・自己評価ができるようワークシート・自己評価表を作成し指導する。また、この【Mission1】 【Mission2】における過去の先輩の感想や成果物等を有効に提示しながら、「僕も社会に通用するような資質・能力を身に付けたい」や「僕たちも役に立つものを考えたい」のような思いや願いが生まれるような導入をすることで、主体的に学ぶ力を高める

他者とかかわる力

話し合いや、議論を焦点化させる協働場面では、生徒自らの考えや意見をグループやクラス全体で話し合う。その際、「人の考えや意見を肯定的に受け止めることができているか」、「自ら

の考えや意見を主張することができているか」「全体の合意形成を受け、意見や考えをまとめることができているか」をポイントにおき指導する。

生徒の内から湧き出てくる感情や思い、考えを交流する場面をなるべく多く設定する。そういった生徒同士で課題を共有したり、意見をぶつけ合うことを通して、他者とのかかわり方や、自らの考えを広げたり深めたりすることの大切さを実感させる。

社会貢献力

【Mission2】の活動を通して、生徒自らが、本単元を通じて、地域とどう関わりどう参画・貢献していくことができるのか、また、この地域を自分はどうしていきたいのかなどの思いが湧きでてくるよう、本活動で関わっていただいた方からの評価や生徒同士の他者評価の場面を多く設定し、自らの活動の意味や意義、達成感を持たせる。

自己形成力

【Mission1】の活動を通して、1年後期と2年後期に行う「自己探究」の単元が、本単元で学習した内容がどうつながり、自分をどう成長させたのか、自らの意識がどう変容したのかが分かるように、特に事前・事後の感想や自己評価をしっかりと生徒に書かせ、自らの自己形成力の変容と高まりが実感できるようにする。

単元の目標

職場体験学習を通して、社会人として通用できる知識・技能を身に付け、主体的、協働的、創造的に取り組む態度を育て、社会人として自らを高めようとする自己形成力を高めるとともに、職場体験でお世話になった事業所へのお礼を形にする活動を通して、地域の役に立とうとする社会貢献力を育むことができる。

育てたい資質・能力及び態度における評価規準

資質・能力及び態度		評価規準	
知識	知識・技能	知	①働くことの意義や意味を理解することができている。 ②社会人として必要なマナー・スキル（技能として）を身に付けることができる。
スキル	思考力・判断力・表現力	思	①事業所を決定し、2つのミッションを達成するために必要な情報を収集するための計画を立てることができる。 ②事前打ち合わせの結果を踏まえ、自ら判断・決定により、職場体験における決意と目標を設定することができる。 ③事業所のお礼を実行するための行動計画を立てることができる。 ④相手に伝えたい内容を精選し、分かりやすく伝える工夫をしている。
意欲態度	主体的に学ぶ力	主	①自ら職場体験に向けての展望や決意を持つことができている。 ②自ら「働くこと」についての課題を見いだし、課題解決の方法を考えようとしている。
価値観倫理観	他者とのかかわる力	他	①「働くこと」について考えるために、事業所の方やゲストチャーと意見交流ができている。 ②「働くこと」についての課題や成果を他者と共有することができている。 ③グループで協力して目標や計画をたてることができている。
	社会貢献力	社	①「働くこと」について学んだことを地域や事業所に返すことができている。
	自己形成力	自	①「働くこと」についての課題解決に向けて、前向きにチャレンジしている。 ②単元を振り返り、「働くこと」とはどういうことか考えることができている。

単元と評価の計画

1 年間の指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	「働くことと向き合おう」 (58時間)								「自分の進路につなげよう」 (12時間)			
	地域理解・社会貢献								自己探究			

2 単元と評価の計画

小単元名	学習過程	時数	学習内容 学習活動	評価規準 (評価方法)	教科との関連
働くことと向き合おう	情報の収集	1 2 3	○「働くこと」について交流する。 ・単元ガイダンスでねらいを知り、学習への見通しを持つ。 (1) ・1年生での職業調べのまとめを用いて、「働くこと」に対する自分の捉えを見つめ直す。(2) ⇒自分にとって「働くこと」とはどういうことだろう	【自-②】 (行動観察) (自己評価表)	
		4 5	○いろいろな人から「働くこと」について話を聞く。 ・ゲストティーチャーの方や、保護者の方の「働くということ」について話を聞き取り、「働くこと」の意義や厳しさを自分の捉えと比較しながら聞き、自らの考えを深める。(2)	【知-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔国語 メモをとって話を聞く
	課題の設定	6 7	○学習のゴールを設定する。 ・【Mission1】 【Mission2】について確認し、個々における追究課題を考える。(2) ⇒職場体験に向け、自分が身に付けなければいけないものや準備しておくべきことは何だろう。	【主-①】 (行動観察) (自己評価表)	
	情報の収集	8 ～ 15	○決定した事業所と働くための事前準備を行う。 ・職場体験活動の目標や計画を立て、事前訪問を行う。 ①マナー教室を通して、接遇の基本を身に付ける。(2) ②自己PRを考え面談(面接)の練習をする。(2) ③事業所を決定し、事前打ち合わせの準備をする。(4)	【他-①】 (行動観察) (自己評価表) 【知-②】 【思-①④】 (行動観察) (自己評価表)	⇔体育 集団行動 ・あいさつ ・礼 ・声の大きさ ⇔国語 敬語を使う
	課題の整理・分析	16 17	○事前打ち合わせを行い、打ち合わせの内容を整理し、職場体験に向けた準備を行う。 ・2つの視点で学習すべきことを整理する。(2) ①職場体験でどのような力を付けたいのか、どのような目標を持って職場体験に臨むのか再度整理する。 ②職場体験後に、自分たちなりの方法でお世話になった事業所へ形ある恩返しを計画・実行するが、それを想定したうえで、職場体験中にどんなところに意識を持って取り組むか、どういうポイントを日々の体験の中で観察していくかの視点や見通しを整理する。 ⇒職場体験で自分が本当に学ぶべきこと、身に付けるべきものは何だろう。 ⇒どんな視点で、職場体験を行えば、よりよい体験のまとめができるだろうか。また、事業所の役に立つことができるだろうか。	【思-②】 【主-②】 (行動観察) (自己評価表)	⇔理科 道具や実験方法を考える (準備の段取りや計画性)
	情報の収集 実行①	18 ～ 42	○職場体験を通じて、「働くこと」について情報を集める。 ・準備してきたことを職場体験で発揮する。(25) ※【Mission1】における 実行 ※【Mission2】における 情報の収集	【自-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔保健 人との関わりと自分らしさ ・社会性 ・中学生期における人との関わり方
	課題の整理・分析	43 44	○職場体験から学んだことを整理し、分析する。 ・職場体験を振り返り、ワークシートにまとめを記入する。 また、事前・事後の意識調査を行う。(1) ・意識調査の内容を交流する。礼状を作成する。(1)	【他-③】 (行動観察) (自己評価表)	⇔理科 実験結果から考察し、まとめを行う

まとめ・創造・表現	45 ～ 55	○体験活動で学んだことを表現する。（【Mission2】の実行） ・自分たちが体験した職場で役に立つものをつくる。（6） ・班・クラスで作成した制作物等を発表し、交流する。（1） ○制作物について交流し、より良いものを作る。 ・自分の発表に対する評価シートを基にしたり、他の人の制作物等の良い点を参考にしたりして、制作物の改善点を考え、修正する。（3） ⇒何かお世話になった事業所の役に立ちたい。	【思－②】 （行動観察） （自己評価表） 【他－②】 （行動観察） （他者評価表）	⇔国語 学習したことを自分の言葉で表現する ⇔技術 作品を相互評価し、改善する
	実行② 56 57	○学んだことを活かし地域に返す。 ・作成した制作物を、お世話になった事業所に届け、掲示してもらおう。また、考えたゲームなどの提案を実行する。（2）	【社－①】 （制作物） （自己評価表）	
	振り返り 58	○単元を通して学んだことを振り返る。 ・制作物の評価をもとに振り返りを行い、次年度につながるようまとめを行う。（1）	【自－②】 （自己評価表）	

本時の展開

1 本時の目標

- ①今までの学習と本単元の学習とのつながりを理解することができる。
- ②本単元に対して、学習の見通しを持つことができる。

2 学習展開（1・2・3 限目/58）

情報の収集

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	<p>1 単元ガイダンスをする。</p> <p>①1学年で学習してきたことを振り返り、これから学習していくこととのつながりを確認する。</p> <p>②1年次において、本校で設定した5つの資質・能力に対して、どのような自己評価であったかを確認し、これからどのような力を付けていかなければいけないのかを共有理解する。</p> <p>③本単元の学習に見通しを持つ。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">「働くことと向き合おう」</div> </div>	<p>①1年次における前期の単元「地域の文化施設を盛り上げよう」では、校区に位置する文化ゾーンにある文化施設のよさや課題について調べ、自分たちでこの文化施設を盛り上げるためにはどうすればいいかを考え企画する学習を行い、「職業ロードマップをつくろう」では、職業レディネステストや職業に就くまでのロードマップを作成し、交流する学習を行った。そういった学習の軌跡を振り返り、本単元の学習においても、今まで学習した事が、再度本単元の「地域理解・社会貢献」、次単元の「自己探究」につながっていることを確認する。</p> <p>②本校で設定した資質・能力のルーブリック表とその自己評価についての集計結果を提示し、この学年の生徒が、資質・能力に対して、どの程度の意識であるかを共有し、この単元を通してさらに身に付けるべき力がなんであるかを考える材料にする。</p> <p>③本単元は、職場体験を中心に、事前学習・職場体験・事後学習と大きく3つの段階に分け学習を進め、主に「働くこと」について学習を深めていくことを確認する。</p>	
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">【本時のめあて】</div> 「働くこと」について考えよう。			

<p>展開①</p>	<p>2 「働くこと」について交流する。</p> <p>①「働くこと」について、思いつくことをすべて出し、イメージマップを用いてみんなのイメージをまとめる。</p> <div data-bbox="229 286 667 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>全員で、「働くこと」のイメージをつなげて、 イメージサラダボールを完成しよう！</p>  </div> <div data-bbox="229 584 667 846" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T：「働くこと」って何だろう？ S：楽しいこと S：お金を稼ぐこと S：働くために社会性を身に付ける S：辛いこと S：人とかかわること T：それってどうしてそう思ったのですか？</p> </div>	<p>①ブレインストーミング（以下プレストと表記）により、「働くこと」から連想されることを、集団で出し合い、イメージマップにまとめていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレストの際のルールについて、1年次で学習した事を振り返り発表させる。 ・班ごとにホワイトボードを配り、まずは、「働くこと」について、思いつくことをホワイトボードへ簡条書きに書かせる。 ・最後に板書にて、担任がイメージマップを作成する。その際、生徒は班で出したイメージをもとに発表させ、その後、作成したイメージマップから、特に大切だと思うキーワード（項目）を絞り、全体でそのキーワードについて交流する。 ・それぞれ集約したキーワードについて、なぜそのようなイメージを持ったのかを発表させる。 	<p>単元を振り返り、「働くこと」とはどのようなことか考えることができる。</p> <p>【自-②】 （行動観察） （自己評価表）</p>
<p>展開②</p>	<p>3 自分の就きたい仕事に置き換えて、「働くこと」について考える。</p> <p>①自分が事業所の雇い主になったとしてどんな人（どんな意欲・どんな価値観を持った人）と一緒に働きたいかを考える。</p> <p>②1年次で、作成した「職業ロードマップ」をもとにして、自分が就きたい仕事に対して、どのような資質・能力が必要であるかを考える。</p> <p>③自分が就きたい仕事に対して、「どのような力を身に付けなければいけないのか」、「どのような思いを持ってその仕事をするべきか」について交流する。</p>	<p>①班ごとに交流できるよう、昨年度生徒が作成した職業ロードマップや職場体験を行う事業所から6つの事業所を選び、その事業所について一事業所ずつ各班で意見を出し合う。</p> <p>（例） 看護師・プロスポーツ選手・美容師・警察官・コンビニ店員・シェフ等</p> <p>②ワークシートを用意し、「お客様や周りの人に喜ばれたり感謝されたり、または自分がやりがいを持って仕事をするためには、どんな力が必要で、どんな思いが大切だろうか。」と問い、自分が就きたい職業に対して、「どのような力を身に付けなければいけないのか」、「どのような思いを持ってその仕事をするべきか」を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時では、ゲストティーチャーに来ていただき、「働くこと」をテーマに話をさせていただくことを予告しておく。また、本時で「働くこと」について考えたこととゲストティーチャーが話されたことが比較できるようしっかりと考えさせる。 <p>③「働くこと」について、展開①と展開②で出た考えや他の生徒の考えをまとめさせておく。</p>	
<p>まとめ</p>	<p>3 本時のまとめをする。</p> <p>①「働くこと」について考えたことについて振り返りを行う。</p> <p>②今後の学習の流れを再度確認する。</p>	<p>①この単元で、「働くこと」をテーマにどのようなことを学んでいきたいのかを交流させる。</p> <p>②今後のさまざまな学習や体験を通して、「働くこと」について深く考えていくことを確認する。</p>	

1 本時の目標

「働くこと」について、自分の考えとゲストティーチャーの考えを比較することを通して、自分自身がこれから身に付けなければいけない資質・能力について考えることができる。

2 学習展開 (4・5 限目/58)

情報の収集

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	<p>1 本時のめあてと学習の流れを確認する。</p> <p>①本時の活動の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時では、ゲストティーチャーに「働くこと」について、話をさせていただくことを確認する。 	<p>①本時までには、1年次に作成した「職業ロードマップ」から、特に生徒の関心が高い職業をピックアップし、その関係先(3事業所・3名程度)にゲストティーチャーの依頼をしておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーへは、主に「働くこと」について、どのような点を大切にされているのか、どのような資質・能力が必要であるか等を中心にお話をさせていただきたいことも依頼しておく。 ・当日ゲストティーチャーへの接待を生徒が中心に行えるよう指導しておく。 	
<p>【本時のめあて】</p> <p>「働くこと」について自分の考えを深めよう。</p>			
展開①	<p>2 ゲストティーチャーの話を聞く。</p> <p>①前時までのワークシートとメモ用紙を持って、ゲストティーチャーの話を聞き、必要があればメモを取る。</p> <p>②質疑応答する。</p>	<p>①体育館を使用し、学年全体で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行は、生徒が行う。 ・司会は、本時のめあてと学習の視点を提示する。 ⇒「働くこと」について、ゲストティーチャーの話を聞く前と後では、自分の考えがどのように変化したのかを整理できるように指示する。 ・前時までに整理した事を踏まえ、「働くこと」について、ゲストティーチャーがどのような点を大切にしているのか等をしっかりとメモするように伝えておく。 ・ゲストティーチャーの話は、一人15分から20分で設定しておく。 <p>②質疑応答は、ゲストティーチャー一人毎に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会は、質問者を指名する。 ・マイクを持って質問者の所へ移動する生徒を決めておく。 ・必要と思うことは、すべてメモをさせる。 	<p>働くことの意義や意味を理解することができている。</p> <p>【知-①】 (行動観察) (自己評価表)</p>
まとめ①	<p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>①ゲストティーチャーの話を終え、本時の振り返りをする。</p> <p>②振り返りを発表する。</p>	<p>①振り返りの後に、生徒に発表してもらうことを伝える。</p> <p>②生徒の振り返りの後、ゲストティーチャーからも感想を伝えていただく。</p>	
まとめ②	<p>5 本時のまとめをする。</p> <p>①各クラス教室に戻り、本時の学習のまとめを行う。</p>	<p>①これから仕事に就くまでに、身に付けなければいけないものがなんであるか、職場体験に向けて自分自身にどのような課題があるのかを視点にまとめさせる。</p>	

1 本時の目標

本単元でこれからどのような学習を行い、どのような力を身に付け、どのようなゴールを目指せばいいのかを整理し、これから行う学習の課題を設定することができる。

2 学習展開 (6・7 限目/ 58)

課題の設定

学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
<p>1 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①本時の活動の見通しを持つ。</p> <p>【本時のめあて】 本単元のゴールイメージを持つ。</p>	<p>①本時では、職場体験に向けてどのような準備をしていかなければいけないか、また、この単元のゴールをどのように設定するのかを考えるよう問いかける。</p>	
<p>2 学習のゴールを確認する。 ①職場体験を行うにあたり、前時のゲストティーチャーの話を思い出し、自分たちがやらなければならないことを考え、交流する</p> <p>《出させたい生徒の意見》 ○「働くために必要なスキルをしっかりと身に付けたいな」⇒【Mission1】 ○「お世話になる事業所に、何か役に立てることを考えたいな」⇒【Mission2】</p>	<p>①職場体験学習のゴールイメージを持たせるために、生徒の意見を整理し導き出した2つのミッションを提示する。</p> 	<p>自ら職場体験に向けての展望や決意を持つことができている。 【主-①】 (行動観察) (自己評価表)</p>
<p>【Mission1】について 《事前学習》の主な内容 ○どんな力を身に付けるべきかを考える ○身に付けるべきスキルを磨く 《職場体験》の主な内容 ○事前学習の実践 《事後学習》の主な内容 ○職場体験での振り返り ・前時までの学習を踏まえて、「働くこと」とはどういうことか、今自分が身に付けるべき力は何かを考え、そしてそのスキルを磨き、職場体験という実践の場で、その力を発揮するとともに、更なる課題の発見をすることを旨すことを確認する。 ⇒職場体験で自分の能力を発揮したい!</p>	<p>【Mission2】について 《事前学習》の主な内容 ○どんなお礼ができるかを考える ○昨年度の成果物に学ぶ 《職場体験》の主な内容 ○職場体験中に、事業所が望むお礼をリサーチする。 《事後学習》の主な内容 ○お礼の形の決定及び実行 ・1年次の「地域理解・社会貢献」の単元を通して、地域のためや人のためにできることを考え実行することで地域とのかかわりが深まり、地域に貢献する(役に立った)という経験を振り返り、これからお世話になる事業所へ対しても体験後自分たちが、学んだことを生かしてできるお礼を考え実行しようと提案する。 ・職場体験では、事業所の方も社会貢献の一環として、そして未来ある子どもたちのために職場体験の場を与えたいという思いで、受け入れてくださった事業所に対して、お礼として私たちもできることを返すことの必然性を生徒に持たせる。 ⇒どんなお礼だと、お世話になった事業所に貢献できるだろう?</p>	
<p>②昨年度の取組を知る。</p>	<p>②昨年度の【Mission1】についての生徒の感想と【Mission2】について作成した成果物や事業所からの感想を提示する。 これにより、ゴールイメージをより明確に持たせる。 ⇒去年の2年生を超えたい!!</p>	
<p>3 本時のまとめをする。 ①今後の学習の流れを再度確認する。</p>	<p>①今後の学習では、職場体験に向けて必要なスキルを磨いていく学習を行うことを確認する。</p>	

1 本時の目標

職場体験に向けて、接遇の基本を身に付けることができる。

2 学習展開 (8・9 限目/58)

情報の収集

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	1 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①本時の活動の見通しを持つ。	①職場体験に向けて、また社会人として最低限身に付けておくべき力について生徒に発表させ、その中から接遇について触れ本時のめあてを確認する。 ・マナー講座はゲストティーチャーに来ていただくため、体育館で学年全体で行う。 ・当日マナー講座に来ていただくゲストティーチャーへの接待を生徒が中心に行えるよう指導しておく。 ・総合的な学習の時間の学習係の生徒が、司会をする。	
【本時のめあて】 接遇の基本を知り、身に付けよう。			
展開①	2 マナー講座により、接遇の基本を学ぶ ①挨拶・基本的な所作 ・挨拶の意義について ・表情・声について ・態度・姿勢について ・お辞儀について ②身だしなみ ・身だしなみとおしゃれの違いについて ・清潔感がある身だしなみについて ・人を不愉快にさせない身だしなみについて ・TPOに応じた服装について ③電話の受け答え ・電話をかける際のマナーについて ・電話のかけ方について	・①～③については、資料を事前に生徒に配布をし、予習をさせておく。 ・ゲストティーチャーより、①挨拶、②基本的な所作・身だしなみ、③電話の受け答えについて、お話をしていただく。 (※事前にゲストティーチャーへはマナー講座で話していただきたい内容を確認しておく。) ・ゲストティーチャーの話はメモを取らせる。 ・ゲストティーチャーから学んだことや考えが深まったことをワークシートにまとめさせる。 ・マナー講座の感想を発表させる。	「働くこと」について考えるために、事業所の方やゲストティーチャーと意見交流ができています。 【他-①】 (行動観察) (自己評価表)
展開②	3 接遇の基本について演習を行う ①挨拶・基本的な所作 ・挨拶とお辞儀の演習 ②身だしなみ ・身だしなみのチェック ③電話の受け答え ・ロールプレイによる演習	①姿勢と表情と声を評価の視点としてペアで交互に練習を行い、相互評価する。 ②毎日常生活点検を行っているが、さらに改善できるところはないかを交流させる。 ③職場体験前には、実際にお世話になる事業所へ事前打ち合わせのアポイントメントをとる電話を入れることになるが、その際の電話のかけ方の原稿を用意しておき、生徒役と事業所の従業員役に分かれロールプレイさせる。その際、事業所の従業員役が生徒役の話し方や態度、言葉遣いについて評価をさせる。 ・①～③を身に付けるために、職場体験に向けて普段どのような点を意識して生活していけばよいかを交流させる。	社会人として必要なマナー・スキル(技能として)を身に付けることができる。 【知-②】 (行動観察) (自己評価表)
まとめ	4 本時のまとめをする。 ①今後の学習の流れを再度確認する。	①次時では、自己PRについて学習することを確認する。 ・次時で使用する履歴書を配布し、家で作成してくるよう指示する。	

- 1 本時の目標
自己PRを考えることができる。

2 学習展開 (10・11 限目/58)

情報の収集

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	<p>1 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①本時の活動の見通しを持つ。</p> <p>「前時では、社会人として最低限身に付けるべき力について学習しましたが、実際に就職するためには、多くのライバルがいる中、採用されるために自分という存在をPRしなければいけませんね。 今回皆さんは、職場体験で事業所にお世話になりますが、その前に事前の打ち合わせに行ってもらいます。その際に、しっかりと自分という存在をアピールしてください。そして、快く職場体験を受け入れていただくためにはどのような自己PRであればよいかを考えましょう。」</p> <p>【本時のめあて】 事業所の方が快く受け入れていただけるよう、自己PRを考えよう。</p>	<p>①前時と本時のつながりを意識して学習の内容の確認を行う。</p>	
展開	<p>2 自己PRを考える。 ①自己PRの意味や目的を確認する。</p> <p>P R (public relations)</p> <p>①会社が商品などについて、また官公庁や各種団体がその事業内容や施策などについて、人々に理解してもらうために広く知らせること。 ②売り込み 宣伝</p> <p>三省堂提供「大辞林 第二版」より</p> <p>②自己PRで最も大切なものがなんであるかを考える。</p>  <p>図：就職白書2016 (リクルート)</p> <p>③作成した履歴書を推敲する。 ④面接形式で自己PRを行う。</p>	<p>①自己PRの意味を確認し目的を確認する。</p> <p>②交流後に、就職白書2016 (リクルート)の資料を提示し、企業も学生も最も重視しているのは「人柄」であることを確認する。</p> <p>③自らが作成した履歴書を自己PRの意味や目的と照らし合わせ、よりよい履歴書を完成させるために推敲をさせる。 ④担任が面接者役となって、数名の生徒を指名し自己PRをし、評価する。その際生徒にも気づきを言わせる。その後、ペアで自己PRの練習をさせる。</p>	<p>相手に、伝えたい内容を精選し、相手に分かりやすく伝える工夫をしている。 【思-④】 (行動観察) (自己評価表)</p>
まとめ	<p>3 本時のまとめをする。 ①今後の学習の流れを再度確認する。</p>	<p>①次時より、体験する事業所を決定することを確認する。 ・本時で作成し直した履歴書を集め評価し学活等を利用して清書させる。</p>	

1 本時の目標

事業所を決定し、事前打ち合わせの内容を考えることができる。

2 学習展開 (12~15 限目/58)

情報の収集

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	<p>1 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①本時の活動の見通しを持つ。</p>	<p>①本時では、事業所の決定と職場体験に向けた事前打ち合わせの内容を考えていくことを確認する。</p>	
<p>【本時のめあて】 事業所の決定をして、事前打ち合わせの内容を考えよう。</p>			
展開①	<p>2 職場体験で体験したい職種について、希望調査を行う。 ①職種について確認する。 ②職種の希望調査を行う。</p>	<p>①職場体験でお世話になる事業所を7つ職種に分類したものを提示し、それぞれの職種について、具体的に事業所名や業務内容を説明し、職種ごとの特徴を理解させる。 ②職種ごとに希望順位と理由を書かせ、次時までには、職種を決定し具体的な事業所についての希望調査を行うことを確認する。</p>	<p>事業所を決定し、2つのミッションを達成するために必要な情報を収集するための計画を立てることができる。 【思-①】 (行動観察) (自己評価表)</p>
展開②	<p>3 職場体験で体験したい事業所について、希望調査を行う。 ①職種ごとの職場体験で受け入れをしてくれる事業所の確認をする。</p>	<p>・展開①の後、職種ごとの希望調査を集計し、生徒への職種に決定したのかを通知できるように準備し、本展開に入るよう時間調整をしておく。また、各教室へ受け入れをさせていただく事業所(84事業所)についても、本展開にまでに掲示しておく。 ①決定した職種に含まれる事業所から希望する事業所を選択し、理由をかかせる。特に事業所を最終的に選考・決定する調査なので、しっかりと自分の思いを希望理由に書くように伝える。</p>	
展開③	<p>4 事前打ち合わせの内容を確認する。 ①各事業所の役割分担を決定する。 ②事前打ち合わせの内容を確認する。</p>	<p>・展開②の後、体験したい事業所の希望調査を集計し、生徒へ決定した一覧を教室に掲示し、周知した後に本展開に入るよう時間調整をしておく。 ・職種ごとに、教室と担当教員を割り当てておき、本展開からその教室で活動を行うことを事前に周知しておく。 ①まず、役割について担当教員が説明をし、その後班長から決めさせる。 ②基本的な、勤務時間・通勤方法・業務内容等の確認に加え、【Mission1】、【Mission2】を達成するために必要な情報収集が行えるよう、質問内容等をしっかりと協議させるとともに、担当教員が、質問する内容について、適宜助言を行う。</p>	
まとめ	<p>5 本時のまとめをする。 ①今後の学習の流れを再度確認する。</p>	<p>①次時では、事前打ち合わせを行うことを確認する。 ・次時までに、事業所へアポイントの電話を班長が入れることを確認する。</p>	

1 本時の目標

事前打ち合わせにより、職場体験に向けた準備をすることができる。

2 学習展開 (16・17 限目/58)

整理・分析

課題の設定

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	<p>1 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①本時の活動の見通しを持つ。</p>	①本時は、生徒が校外に出るため、動きや注意事項の確認をする。	
<p>【本時のめあて】 職場体験に向けて、しっかりとした準備をしよう。</p>			
展開①	<p>2 事前打ち合わせを行う ①事業所へ出向く。</p> <p>②事前打ち合わせを行う。</p>	<p>①本校に受付場所を設定し、事前打ち合わせに出発する時と、学校に戻った時に受付でチェックを受けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間の確認 ・交通費等の確認 ・打ち合わせ内容の確認 <p>②班長が挨拶を行い、その後履歴書の提出と自己紹介及び決意表明、職場体験における必要事項の確認、生徒からの質問の順で打ち合わせを行う。 生徒からの質問では、特に【Mission1】を達成するために、職場体験に向けて、事業所側がどのようなスキルや態度、価値観を求めているのかをしっかりとリサーチできるように質問内容を準備させる。また、【Mission2】を達成するために、この事前打ち合わせや職場体験を通じて、事業所側がどんなものを求めているのか、どのようなことに困っているのかをリサーチできるように質問内容を準備させる。</p>	<p>自ら「働くこと」についての課題を見だし、課題解決の方法を考えようとしている。</p> <p>【主-②】 (行動観察) (自己評価表)</p>
展開②	<p>3 事前打ち合わせの結果を整理する。</p> <p>①職場体験に向けて、必要な情報を整理し事業所の同じメンバー同士で、その情報を共有する。</p> <p>②事前打ち合わせの内容を振り返り、職場体験に向けて、決意を新たにす。</p>	<p>・職種ごとに教室を分けておき、そこで担当教諭が事前打ち合わせの結果を整理させる。</p> <p>①事前打ち合わせの際に、生徒へは打ち合わせ内容をメモしているはずであるが、記載ミスや聞き洩らし等が無いようにするため、同じ事業所を体験するメンバー同士で内容を再度確認させる。最終版は担当教員が確認をし、コピーを取っておく。</p> <p>②事業所の担当者との打ち合わせを終えて、働くことに対する意識や働くために必要なスキルについて、事業所側と本人とのずれや隔たりがあったものを振り返り、職場体験までにすべきことを再度整理する。</p> <p>⇒職場体験までにもっと準備が必要だな！！</p>	<p>事前打ち合わせの結果を踏まえ、自ら判断・決定により、職場体験における決意と目標を設定することができる。</p> <p>【思-②】 (行動観察) (自己評価表)</p>
まとめ	<p>4 本時のまとめをする。 ①今後の学習の流れを再度確認する。</p>	①次時から職場体験に入るため、各事業所の班長中心に最終確認を行う。	

1 本時の目標

職場体験学習を通して、「働くこと」について、自らの勤労観、職業観を広げ、働くために必要となるスキルを身に付けたり高めたりすることができる。

2 学習展開 (18~42 限目/58)

実行①

情報の収集

	学習活動【注意事項】	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
職場体験活動 (5時間×5日間)	<p>1 事業所(本年度は84事業所)に出向き、職場体験活動を行う。</p> <p>【基本的な姿勢・態度における注意事項】</p> <p>①指示を待つのではなく、積極的に取り組む。</p> <p>②活動場所では、活動内容をしっかりと理解することを心がけ、わからないことがある時には、積極的に質問する。</p> <p>③体験場所では、仕事の苦労や厳しさを十分体験するとともに、日常生活では得がたい経験の中から喜びを見出す。</p> <p>④失敗しても投げやりになったり、失望したりすることなく、担当者に報告し、相談しながら全力を尽くす。</p> <p>⑤常に自分を振り返り、指示や注意に対して、素直に耳を傾けることのできる姿勢や態度で取り組む。</p> <p>⑥中学生としての自覚を持ち、言葉遣い・服装・態度などに注意を払う。</p> <p>⑦「はい」「わかりました」「ありがとうございました」など、大きな声で、はっきりと言い、気持ちのよい人間関係を築く。</p> <p>⑧お世話になる事業所に対して感謝の気持ちを持ち、進んで事業所のために奉仕する気持ちを持つ。</p> <p>【活動における注意事項】</p> <p>①遅刻、早退、無断欠席がないようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず欠席をする場合は、始業時刻前に、早めに保護者が学校と事業所に電話連絡をする。 ・決められた出勤時刻の10分前には、確実に到着できるように余裕をもって家を出る。 ・やむを得ず早退する場合(体調不良など不慮の事態が生じた際)は、事業所の担当者に申し出て、学校に連絡してもらう。 <p>②家で緊急なことが発生したときには、学校に連絡を入れてもらう。</p> <p>③通勤方法(通勤路、交通手段)はあらかじめ決められた方法に従う。</p> <p>④服装は事業所から指定されたものとする。持ち物は、実習ノート、筆記用具、弁当、水筒、タオル、その他活動に必要な物とし、城北バッグを使う。</p> <p>⑤昼食は、弁当を持参し、近隣の店で弁当や飲食物を購入しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不要物を持って行ったり、お菓子やジュース等の飲食をしたりはしない。(学校と同じ) <p>⑥活動中は、事業所の方の指示に従い、事業所の規則を守るとともに、学校のルールも守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に挨拶、言葉遣い、時間、服装に気を付ける。 ・無駄話をせず、丁寧にきばきと仕事をこなし、事業所に迷惑をかけないようにする。 <p>⑦万一、活動中にけがや事故などのトラブルが発生したり、物を破損したりした場合は、すみやかに担当者に申し出て、指示を受ける。</p> <p>⑧活動時間は原則として9時から15時であるが、早く終わっても寄り道や買い食いをしたり、友達の体験先を訪ねたりしない。</p> <p>⑨毎日、実習ノートを事業所に提出し、担当者の点検を受けるとともに、家庭でも保護者に見せ、感想を書いてもらう。</p> <p>⑩活動期間中は部活動は中止。</p> <p>⑪帰宅したら、メンバーは必ずリーダーへ電話し、帰宅したことを告げる。</p> <p>リーダーはメンバー全員から電話があったら、学校へ連絡を入れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職種ごとの担当教員で生徒の活動の様子を見て回り激励をするとともに、事業所の方からも生徒の様子を聞きとる。 ・体験5日間のうち、事業所の都合等により体験ができない日がある生徒については、校内で環境整備のプログラムを教員で作成しその作業を行わせる。作業中は、職場体験と同じルールで行う。 	<p>「働くこと」についての課題解決に向けて、前向きにチャレンジしている。</p> <p>【自-①】 (行動観察) (自己評価表)</p>

<p>⑫期間中、朝6時の時点で福山地区に警報(大雨,洪水,暴風)が発令されている場合は、市内一斉休業日とする。また、活動中に警報が発令された場合は、交通機関等の状況を把握して、学校と事業所で連絡をとり、途中で切り上げる場合もある。</p> <p>⑬その他、事業所の都合により、やむを得ず営業が休止される場合は、学校に登校し、先生の指示に従う。</p> <p>【事故防止のための注意事項】</p> <p>①通勤・退勤時には、交通ルールを守り、車の通行量の多い道路や交差点等では事故のないよう十分に注意するとともに、他の人の迷惑にならないよう通行する。</p> <p>②事業所内では、危険箇所での作業や危険物の取り扱いを行わない。</p> <p>③担当者の指示には確実に従い、自分勝手な判断で行動しない。</p> <p>④作業場所においては、回りの状況を十分に確認し、移動する際には、特に足元に注意する。</p> <p>⑤その他、あらゆる場面において、事故やけがのないよう、集中して活動に取り組む。</p> <p>2 1日の活動の振り返りを実習ノートに記入する。</p> <p>①活動日誌を記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の目標 ・活動内容と活動の反省 ・今日の目標に対しての達成度を中心とした感想 ・事業所からの一言 ・保護者からの一言 <p>②自己評価表を記入する。(12項目A B C D評価)</p> <p>3 体験終了後、職場体験のレポートを作成する。</p> <p>○仕事を体験してうれしかったことやよかったこと。また、働くことのやりがいをどう感じたか。</p> <p>○困ったこと、苦勞したこと。また、働くことの厳しさをどう感じたか。</p> <p>○職場の人たちから学んだこと。また、働くということについて考えたこと。</p> <p>○将来の自分の進路や職業選択の参考になったこと。</p> <p>○今回の体験学習で頑張ったこと、不十分だったこと。</p> <p>○今回の体験学習で得たこと、学んだこと、今後に生かしていること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日きちんと実習ノートを記入するよう指導しておく。 ・毎日事業所の担当者から1日の職場体験の振り返りと評価をしていただくよう事業所へも事前に担当教員からお願いをしておく。 ・学年から保護者へ、毎日の職場体験の様子や、保護者の職業観、働くことについての考えなども話題に挙げていただき、ご家庭でも子どもと話をさせていただくようお願いをしておく。 ・どの項目もしっかりと自分の言葉で書かせる。 ・体験中の具体的なシーンであるとか、具体的なエピソードもレポートの中に入れさせる。 	
--	--	--

1 本時の目標

職場体験の事前・事後の意識調査をもとに自らの「働くこと」に対する考え方の変化を見つめ、貴重な体験をさせていただいた事業所へ、感謝の気持ちを込めた礼状を作成することができる。

2 学習展開 (43・44 限目/58)

整理・分析

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	1 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①本時の活動の見通しを持つ。	①職場体験を振り返り、自らの意識がどのように変化したのかを整理することを確認する。	
	<p>【本時のめあて】 職場体験でお世話になった事業所へ礼状を書こう。</p>		
展開①	2 職場体験の事前・事後の意識調査を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> Q 1. 職場体験前と後では、「働くこと」に対する意識は変化しましたか。 Q 2. それはどのように変化しましたか。 Q 3. それは、具体的にどのようなことを通じなぜ変わったと思いますか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Q 2 では、職場体験前と後それぞれについて、「働くことは、〇〇ということ」という文章を書かせその内容で意識の変化を見ることができるようさせる。 ・ Q 3 では、職場体験の具体的にどのような活動またはどのような場面、どのような言葉で意識が変化したのかなるべく具体的にかかせるようにする。 ・ この意識調査の結果は、後期の単元の導入でも使用するため、授業後集めておく。 	グループで協力して目標や計画をたてることができる。 【他-③】 (行動観察) (自己評価表)
展開②	3 礼状を作成する。 ①展開①の意識調査の内容を交流する。 ②意識調査をもとに、職場体験を振り返り、貴重な体験をさせていただいた事業所へ礼状を書く。	①主にどのような活動や体験、声かけ等が印象に残っているか、またそれはなぜかという点を中心に交流をさせる。 ②事前に国語・学活等で礼状のかき方について学習をしておく。礼状には、型どおりの文章にならないよう、自分の印象に残るエピソードや体験した内容を具体的に入れ、自分の言葉で感謝の気持ちを礼状に込めるよう指導する。	
まとめ	4 本時のまとめをする。 ①今後の学習の流れを再度確認する。	①次時より、【Mission2】の実行に向けて取組を始めることを確認する。	

1 本時の目標

お世話になった事業所へ自分たちができるお礼を考えることができる。

2 学習展開 (45～55 限目/58)

まとめ・創造・表現

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	<p>1 本時のめあてと学習の流れを確認する。 ①本時の活動の見通しを持つ。</p>	①職種ごとに教室を分けておき、その職種の担当教員が見通しの確認を行う。	
<p>【本時のめあて】 職場体験でお世話になった事業所へ “私たちのもう一つのありがとう” を考えよう。</p>			
展開①	<p>2 職場体験でお世話になった事業所へ対して実行できるお礼を考える。 ①日程の確認をし、計画を立てる。</p> <p>②必要な材料を考える。</p>	<p>①実行までのスケジュール表を提示し、生徒にこれからどのような工程を進めていくべきかを考えさせ計画を立てさせる。(※本時も含めて準備できる時間は11時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の【Mission2】の成果物等(写真)を掲示しイメージを持たせる。 ・事前打ち合わせや職場体験で、リサーチしてきた情報も参考に考えさせる。 ・自分がよいと思うことと、相手が求めていることに差が無いかを考えさせる。 <p>⇒事業所の方の役に立つものにしたいな!</p> <p>②事業所ごと、作成等に係る経費の上限を示し、計画を立てさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所の経費は1000円までとする。必要な材料を購入後、おつりと領収書を添付させる。 ・白の画用紙、マジック、ラミネートについては、学年から準備するため、必要数を申告させる。 	<p>事業所のお礼を実行するための行動計画を立てることができる。</p> <p>【思-③】 (行動観察) (自己評価表)</p>
展開②	<p>2 お礼として考えた企画を交流し評価してもらおう。 ①同じ職種同士でお互いの企画を発表し、お互いに意見交換及び評価をする。</p>	<p>①職種ごとにグループで、企画書の第1案を相手グループに紹介し、意見交換の後、より具体的で実現性の高い案になるよう多様な考えを出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良いと思うことを伝えること ・批判だけでは不十分ではなく、できるだけ代案も示してあげること ・聞く側は、よい点と改善点について、付箋に記入し、後で発表グループに渡す。(※発表グループが企画のビルドアップの材料とするため) ・生徒のアイデアや考えについて、深まりが見られない場合など、必要に応じて担当教員も質問を行い生徒に回答を求める。 ・評価については、最低必要だと思われる視点については、示しておき、意見交流をさせる。 	<p>「働くこと」についての課題や成果を他者と共有することができる。</p> <p>【他-②】 (行動観察) (他者評価表)</p>

展開③	<p>2 お礼として作成または提案したいものをさらにビルドアップする。</p> <p>①お礼として作成または提案したいものを今までの意見交換等も踏まえ、最終板を作成する。</p> <p>②お礼として作成または提案したいものを事業所へ持参した際の挨拶を考えさせる。</p>	<p>①より完成度を上げるため、時間いっぱいまで、改善を要求する。</p> <p>②事業所の方へは、なぜそれを作成(提案)しようと考えたのか、どういう思いでそれを作成(提案)したのかが伝わるような挨拶を考えさせる。</p>	
まとめ	<p>4 本時のまとめをする。</p> <p>①今後の学習の流れを再度確認する。</p>	<p>①今後の学習では、地域をより深く理解し地域とともに地域をよりよくしていくことをみんなで考えていく活動を中心に行っていくことを確認する。</p>	

1 本時の目標

この単元を通じて学習したことを振り返ることができる。

2 学習展開 (56～58 時限目/58)

実行②

振り返り

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	<p>1 本時のめあてと学習の流れを確認する。</p> <p>①本時のめあてと流れについて説明を聞く。</p>	<p>①【Mission2】の実行とともに、単元全体で学習したことと、この単元の学習を通じて、自らが成長したことや身に付いたことなどを交流することを確認する。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>【本時のめあて】 【Mission2】を実行して、この単元で学習したこと、成長したことをまとめよう。</p> </div>			
展開①	<p>2 【Mission2】を実行する。</p> <p>①各事業所へ出向き、【Mission2】で作成した(提案したい)制作物を事業所へ出向き提案する。</p>	<p>①以下の3点を注意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験前に、職員が事業所へ出向いた際に今回の実行の件についても説明をして了承を得ておく。 ・事前に、生徒に事業所へお伺いする日時のアポをとらせておく。 ・自分たちの感謝の気持ちとともに、この制作物の思いもお世話になった事業所へしっかりと伝えさせる。 	<p>「働くこと」について学んだことを次地域や事業所に返すことができている。</p> <p>【社-①】 (制作物) (自己評価表)</p>
展開②	<p>3 実行の振り返りを行う</p> <p>①実行を終えての感想や反省、または、新たに湧き出た課題などを交流する。</p>	<p>①達成度(満足度)を数値化し、その数値をもとにプラス面やマイナス面が何であったかを交流させ、そこから次への目標や課題が湧きやすくなるように働きかける。</p>	<p>単元を振り返り、この地域でよりよく生きるとはどういうことか考えることができている</p>
展開③	<p>4 この単元の振り返りを行う。</p> <p>①この単元を振り返り、成長したこと、良かったこと、課題として残ったこと、悔しかったことなどを交流する。</p>	<p>①担任は、生徒の発言をなるべく具体的に広げるよう発問する。</p> <p>例「〇〇が成長したっていいましたが、それは具体的に、どの場面のときにどうして成長することができたのか教えてください」</p>	<p>【自-②】 (自己評価表)</p>
まとめ	<p>5 本単元のまとめをする。</p> <p>①本単元の活動において、どのような力がどの程度身に付いたかを振り返り、文章でまとめる。</p>	<p>①本単元でどのような力がどの程度身に付いたのか、どのような達成感があったのか、または、どのような課題があったのかなどをしっかりと振り返らせ、自己評価表に文章でしっかりと記入させる。</p>	